

資料 大学等奨学金ガイド

＜新潟県奨学金＞ 問い合わせ 新潟県教育庁高等学校教育課 025(280)5609

対 象 高校、高専、大学、短大、専門学校

出願資格 人物・学力とも優秀で、経済的に修学が困難な者。成績基準は大学・短大3.

5以上、専門学校3.2以上。世帯の所得基準がある。他の奨学金を受けていない者。

貸与月額

	国 公 立		私 立	
	自 宅	自 宅 外	自 宅	自 宅 外
大学	41,000		44,000	51,000
短期大学			43,000	48,000
専修学校(専門課程)				

(単位：円)

貸与期間 採用から最短修業年限まで。

返 還 無利子、卒業後据え置き8か月から15年以内。

＜新潟県奨学金（大学・短大予約奨学生）＞ 問い合わせ 上と同じ

申込資格

平成18年4月に大学・短大に進学予定の者で、心身共に健全で経済的理由より修学が著しく困難な者。成績基準は3.5以上。保護者の認定所得金額が収入基準額以下であること。他の予約奨学金を受けていない者。

貸与月額・貸与期間

国公立短大 及び大学	私 立 短 大		私 立 大 学	
	自 宅	自 宅 外	自 宅	自 宅 外
41,000円	43,000円	48,000円	44,000円	51,000円

申込方法

高校在学者は平成17年10月頃、高校に申込書あり。卒業生、大検合格者は県教委高校教育課に直接申込む。

返 還 無利息で、卒業後15年以内の年賦または半年賦とする。

＜独立行政法人日本学生支援機構＞ 問い合わせ 03-3269-4261 各高校に案内あり。

日本育英会は平成16年4月に廃止され、日本学生支援機構として継続して業務を行っている。事業内容は変更されていない。

1. 第一種奨学金（無利子貸与）

対 象 高校、高専、大学、短大、大学院、専門学校

貸与月額

(単位：円)

	国 公 立		私 立	
	自 宅	自 宅 外	自 宅	自 宅 外
大学	44,000	50,000	53,000	63,000
短期大学			52,000	59,000
専修学校(専門課程)				

高すぎる親の経済負担

貸与期間 採用された月から卒業までの最短修業年限

返 還 およそ11～15年位

選考基準 大学・短大は高校2～3年の成績3.5以上、専門学校は3.2以上。
主たる家計支持者の収入、所得金額が定められている。

2. 第二種奨学金（有利子貸与）

対 象 大学、短大、大学院、専門学校、高専（3・4年）

貸与月額 3・5・8・10・13万円（大学院）から選択。

返 還 およそ卒業後13～20年位

選考基準 学力は高校における成績が平均水準以上、学習意欲があり、学業を確実に終了する見込みのある者。家計は一定の所得以下の世帯。

3. 入学時特別増額貸与奨学金（30万円）

第一、二種奨学生の内、増額貸与を希望する者。一定の所得以下の世帯。

＜生活福祉資金（修学資金）＞ 問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 025(281)5522

貸付対象 一定以下の所得の世帯。

修学費（月額）

（単位：円）

区分 学 種	国 公 立		私 立	
	自 宅	自宅外	自 宅	自宅外
大学	44,000	50,000	53,000	63,000
短大・専修学校	44,000	50,000	52,000	59,000

就学支度費

（単位：円）

区分 学 種	国 公 立		私 立	
	自 宅	自宅外	自 宅	自宅外
大学・短大・専修学校	370,000	380,000	440,000	450,000

返 済 無利子、卒業後、据え置き6か月で10年以内に償還。

＜母子・寡婦福祉資金貸付金＞（新潟県）市町村の母子福祉担当窓口で申込み可。

貸付限度額

区分 学校種別		国 公 立		私 立	
		自 宅	自宅外	自 宅	自宅外
大学	一般分	44,000	50,000	53,000	63,000
	特別分	66,000	75,000	79,500	94,500
短大 専修学校（専門課程）	一般分	44,000	50,000	52,000	59,000
	特別分	66,000	75,000	78,000	88,500

就学支度費
上と同じ

（単位：円）

他に、新潟県看護職員修学資金、各市町村奨学金（合併等のため問い合わせ必要）、民間公益法人の奨学金、国の教育ローン、銀行教育ローンなどの奨学金や貸付がある。

新潟県教育庁高等学校教育課は毎年「奨学金ガイド」を発行しているので、詳細は同ガイドを参照してください。各高校に配布されています。